

第一学年 算数科

【学習目標】

- ・数の概念とその表し方や計算の意味を理解し、量、図形、数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにする。
- ・ものの数に着目し、具体物や図などを使って数の考え方や計算の仕方を考える力を養う。ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考える力を養う。身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比較方を考える力を養う。データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力を養う。
- ・数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書	「あたらしいさんすう①」 「あたらしいさんすう②」	(東京書籍) (東京書籍)
副教材	けいさんドリル けいさんドリルノート かずみちゃん	(青葉出版) (青葉出版) (ヤマガミ共有社)

持ち物

教科書	ノート	計算ドリル
計算ドリルノート	算数セット	

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習の約束】

- 自分の考えを進んで発表 しましょう。
- 先生や友だちの話をしっかり聴きましょう。
- 字を丁寧に書きましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

前 期	後 期
1. なかまづくりとかず 2. なんばんめ 3. あわせていくつ ふえるといつつ 4. のこりはいくつ ちがいはいくつ 5. どちらがながい 6. わかりやすくせいいりしよう 7. 10よりおおきいかず 8. なんじなんじはん 9. 3つかずのけいさん 10. どちらがおおい	11. たしざん 12. かたちあそび 13. ひきざん 14. おおきいかず 15. どちらがひろい 16. なんじなんぶん 17. たしざんとひきざん 18. かたちづくり

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
技ぎ 知ち 能う 識き 能う	わかる・ できる すうりょう づけい きそてき ちしき ぎのう りかい み 数・量・図形の基礎的な知識・技能を理解し、身につける。	ひょうか かんてん ばめん ほうほう 単元テスト 授業の様子 発言・発表 じゅぎょう ようす はつげん はっぴょう
表ひょう 判はん 現げん 断だん 思こう 考こう る	かんがえる すじみち かんが ひょうげん 筋道をたてて考え、表現する。 ひょうげんす る	じゅぎょう ようす はつげん はっぴょう たんげん 授業の様子 発言・発表 単元テスト ノート ふり返り かえり
取とり 組く む 學く 習う に 主しゅ 體たい 的てき 度ど	主体的に算数の学習にとりくむ。 たいど すうりょう づけい した たの すす まな ・数量や図形に親しみ、楽しみながら進んで学ぼうとしている。 がくしゅう けいけん い かんが ・学習したことや経験を活かして考えようとしている。	じゅぎょう ようす はつげん はっぴょう 授業の様子 発言・発表 ノート ふり返り かえり